

高速道路本線上での渋滞時の自動運転を提供



名称：トラフィックジャムパイロット(TJP)

周辺の交通状況監視から解放され
運転負荷を軽減

主な走行環境条件

1. 道路状況及び地理的状况

(道路区間)

高速自動車国道、都市高速道路及びそれに接続される又は接続される予定の自動車専用道路
(一部区間を除く)

(除外区間/場所)

自車線と対向車線が中央分離帯等により構造上分離されていない区間
急カーブ、サービスエリア・パーキングエリア、料金所など

2. 環境条件

(気象状況)

強い雨や降雪による悪天候、視界が著しく悪い濃霧又は日差しの強い日の逆光等により自動
運行装置が周辺の車両や走路を認識できない状況でないこと

(交通状況)

自車が走行中の車線が渋滞又は渋滞に近い混雑状況であるとともに、前走車及び後続車が
自車線中心付近を走行していること

3. 走行状況

(自車の速度)

自車の速度が自動運行装置の作動開始前は約30km/h未満、作動開始後は約50km/h
以下であること

(自車の走行状況)

高精度地図及び全球測位衛星システム(GNSS(Global Navigation Satellite System))
による情報が正しく入手できていること

(運転者の状態)

正しい姿勢でシートベルトを装着していること

(運転者の操作状況)

アクセル・ブレーキ・ハンドルなどの運転操作をしていないこと

※本田技研工業(株)提供